



令和2年12月28日  
富岡保育園  
年長 No.6

今年も残すところあと数日となりました。

4月、年長になったことに喜んで張り切って過ごしていた子どもたちの姿を思い出します。すっかり、いいお兄さん、お姉さんになりました。

今年にはいつ新型コロナウイルスに不安を感じ、自粛生活をする中でどんなに普段の生活のありがたみを思い知ったかわかりません。保育園でもたくさんの行事が中止になったり、見送られたりしてきました。せっかく年長になったのにいろんな場面で何かを披露するという機会が少なくなったのはさみしいものでした。そんな中、花まつり、遠足、サマーキャンプや運動会は開催できたこと本当によかったと思います。普段の保育園生活でも子どもたちの成長を感じることはありますが、大きな行事を経ていくとそれがまたよくわかります。やりたいという意欲とできた喜び。それにはたくさんの努力やいろんな思いを経験していく力が大事になってきます。みんなやさしくて、あかるくて、素直ないい子たちばかりで、そばにいる私もたくさん元気をもらって過ごしてきました。子どもの頑張る姿や、笑顔はすごいパワーでわたしも元気をもらっています。

来年は小学校一年生です。楽しみですね。残りの保育園生活も子どもたちにとって楽しいものであるように、一日一日を大事に過ごしていきたいと思います。

保護者の方々にも大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。良いお年をおむかえください。

運動会が終わったあとも跳び箱は大好きで毎朝のように跳び箱を跳んで楽しんでいます。あれから、サッカー教室もあり、お店屋さんごっこがあり、いもほりがあり、園庭にでると鬼ごっこや、ケイドロ、陣取り、サッカーで元気にあそんでいます。この頃は発表会の練習で歌を歌ったり、ピアノやマリimba、ハンドベルを頑張っています。

寒くなり、新型コロナウイルスがまた猛威をふるってきたので発表会もどうなるのだろうと心配しますが、どんな形になっても今取り組んでいるものは子どもたちと一緒にやり遂げたいと思っています。

劇に「ともだちになったねずみのはなし」をしています。

レオ・レオ二作の「アレクサンダとゼンマイねずみ」の絵本のお話です。今、順番に絵本を貸し出ししていますのでお家でも楽しんでみてください。



「ともだちになったねずみのはなし」  
フィナーレ  
♪さあ みんなでうたおう  
さあ みんなでおどろう  
せかいじゅうのみんなともだちになれば  
こわいものなんてないのさ  
ほくも きみも どうぶつも  
おもちゃも くさも はなも  
ちきゅうにいきてるみんな  
たいせつななかま  
みんな みんなが うれしくなる  
みんな みんな しあわせになる  
そんなせかいをつくるんだ  
てをつなごうよ  
さあ いこう

